

お知らせ
 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を受け、掲載された行事・講座等の内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

まちだの教育

2011年
 3月21日
 No. 78



携帯電話用
 QRコード

発行:町田市 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-0022 町田市森野1-33-10 MACHIDA TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

本町田中学校は本年3月をもって閉校いたします。36年間、本町田地域の中学校教育の拠点として伝統を築いてきましたが、その歴史に幕を下ろすことになりました。

本町田中学校は1975年4月、町田第三中学校に併設された仮校舎にて開校しました。初代校長に三島愛啓先生をお迎えし、全校生徒数は450名、教職員数20名でのスタートでした。同年10月には、現在地において開校式が行われました。翌1976年1月、教育目標・校章・校旗が制定され、校歌の発表会も開かれました。その後、学校の規模は年ごとに大きくなり、1984年度には全校学級数31学級、生徒数は1317名と都内でも有数の大規模校になりました。翌年には現在の特別支援学級が開設され、さらに規模は大きくな



11代校長
 板垣 仁

思い出は未来へと続く

ていきました。

しかし、1991年度頃より、地域の少子化傾向等から徐々に生徒数は減少し、1995年度には全校生徒数が481名と500名を割りこみました。その後も生徒数は減少し続け、2008年度には157名、2009年度には92名と市内最小規模の中学校となっていました。そのような状況を受け、教育委員会及び関係者の方々により本校の存続について検討が行われた結果、今後の生徒数増加は望めないとの結論に達し、このたび正式に閉校することとなりました。以上が開校から閉校に至る経緯です。

生徒数が減少する中、2009年度には町田市研究推進校として「認め励まし、一人一人の良さを生かす教育の推進」特別支援教育の考えに基づく指導方法の工夫と改善」という主題で研究発表会を行いました。

今年度は2年生1名、3年生28名、特別支援学級9名と全校生徒は38名の小さな学校となりましたが、小規模校の特性を生かし、少人数指導や複数指導、モジュール学習など個に応じたきめ細かい学習指導を徹底しました。また全教員の輪番制による全校道徳授業、福祉体験、花づくり・野菜づくり活動、保護者や地域の方々の参加による行事などを通して、協働性や社会性を育む心の教育を実践してきました。

学校は今年度で閉校となりますが、本町田中学校の思い出は、在校生や教職員、卒業生の心の中でいつまでも生き続けていくことでしょう。

36年間ありがとう さようなら

本町田中学校

閉校にあたって

**町田市立大戸・武蔵岡
 合同校舎型小中一貫校**

～いよいよ2011年度から
 改修工事が始まります～

教育委員会では、大戸小学校及び武蔵岡中学校を合同校舎型小中一貫校とするため、2012年4月開校を目指して現在準備を進めているところです。

いよいよ来年度から校舎内等の改修工事が始まります。普通教室、特別教室の間仕切り等の改修、空調機設置、トイレの改修、屋上の防水、外壁塗装など大戸小学校を中心に改修工事を行います。地域の方々にはご迷惑をお掛けしますが、学校運営に支障がないよう工事を進めていき、教育活動面においても両校教職



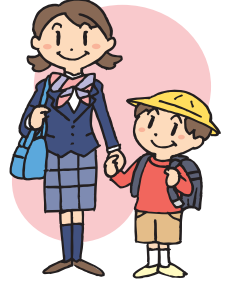
小規模化が著しい本町田中学校は、「学校適正規模適正配置事業実施計画（1999年3月策定）」に基づき、本年3月31日をもって長い歴史に幕を閉じることになりました。

閉校にあたり、最後の校長にこれまでの学校を振り返っていただきました。

員が連携しながら取り組みを進めています。

なお、小中一貫校としての学校名については、秋頃に決定しご報告する予定です。

今後、学校、保護者、地域の方々にご理解ご協力をいただきながら、開校に向けて準備を進めていきます。



アサヒビル株式会社から大戸小学校に太陽光発電設備（10kw）が寄贈され、3月7日に贈呈式が行われました。これは同社が売上の一部を活用して、自然や環境などの保護・保全活動を支援するプロジェクトの一環で、大戸小学校が取り組んできた環境教育が評価され選ばれたものです。太陽エネルギーを有効活用することで、児童への環境教育の推進、教員や来校者に対して、地球温暖化防止の啓発を進めていくことを目的としています。

連載

町田市の文化財をご存知ですか

第3回 木曾中学校遺跡のクルミ形縄文土器

この土器は、1981年の木曾中学校建設に伴う発掘調査で出土しました。埋まっていたのは、現校舎の真下約1.5mで発見された縄文時代中期（約5000年前）の竪穴住居の中でした。クルミを半割りにした形を土器に採用した全国でも珍しいものです。正面の目鼻を思わせる造りも含め、当時の主食であった木の実に対する縄文人の切実な思いが感じられます。自然の恵みに対する感謝と豊穡祈願を目的に作成、使用されたのでしょうか。下記施設で実物を展示していますので、是非ご覧下さい。

町田市考古資料室

所 在：下小山田町4016
 開室日：第2・4土・日曜、祝日
 （7・8月は毎土・日曜、祝日）の10～16時
 案 内：町田バスセンターからバスで
 市立室内プール下車、徒歩10分
 電 話：797・9661

▲クルミ形土器
 直径22cm、高さ8.5cm
 縄文時代中期（約5000年前）

お見舞い

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

お願い

東京電力の設備が大きな被害を受けたことにより、今後、電気の供給力が不足する恐れがあります。市民の皆さまにおかれましては、徹底した節電にご理解ご協力をお願いいたします。

まちだ市民大学HATSは、「将来の都市像の実現に欠くことができないマンパワーづくり」を事業目的としています。あなたを励まし、地域を育てる」を基本コンセプトに掲げ、市民参画によるプログラムづくりを行っています。各講座は、市民が主体的により深く学ぶことのできる長期講座を特色として、受講した市民の意見や市民自らの課題が講座に反映されるよう配慮され運営されています。

学習内容としては、第1に、町田の自然に触れる「多摩丘陵の自然入門」講座や、縄文時代から現代までの町田の歴史を学ぶ「町田の郷土史」講座のように、町田という地域の特性に根ざした様々な調査研究の成果を学び、郷土への認識を深める「まちだ学」の領域があります。

第2の学習内容としては、地域社会を支えるマンパワーの育成やまちづくりに参画しようとする市民への支援を目的とした「市民学」の領域があります。具体的には、高齢化、国際化、環境問題、介護、福祉、医療など町田の地域課題を学ぶことを通して、市民がそうした課題に主体的に向き合うことを目指した「人間

まちだ市民大学HATS 講座案内

こんな講座を開催しています



Humanity 人間性
Art&Literature 芸術・文芸
Technology&Science 技術・科学
Sports&Health スポーツ・健康

☆名称にある「HATS」とは、このような市民大学の学習領域を示しています。

2011年度も市民大学HATSでは、下記の講座を4月から開講します。詳しくは、市内各施設等で4月6日まで配布中の「募集案内」、もしくは町田市のホームページをご覧ください。

問い合わせ
 まちだ市民大学HATS
 ☎729・1195

科学「人間関係学」「まちだ市民国際学」「まちだ市民環境学」「環境にやさしい陶芸入門」講座があります。

特に、市内の環境保全団体の協力を得て実施する町田の環境・参加体験講座「まちだdeエコ・ツアー」や、市内福祉施設での実習と講義で学ぶ「まちだの福祉講座」は、多くの市民ボランティアを生み出し、市民協働のまちづくりに貢献しています。



▲車椅子の介護実習風景



▲抹茶茶碗作製風景(寄せ上げづくり)



▲小山田1号遺跡の見学風景



2011年度 通年・前期 実施講座一覧	テーマ	曜日・時間	期間・回数	定員・参加費	おすすめ ポイント
多摩丘陵の自然入門	—	日曜日10:00~15:00 (例外あり)	4/24~12/4 全13回	50名 3,000円	町田市内のフィールドで自然観察を行い、親しみ楽しみながら、多摩丘陵の自然を知り、自然保護の実情について学びます。
まちだの福祉	あなたに合ったスタイルで福祉を学ぶ	実習 平日の昼間 講義 土曜の昼間	通年 4/23~12/3 全14回 短期 4/23~7月 全7回	各コース7~10名 1,000円	町田市内福祉施設で体験実習を行います!!「清風園コース」「福音の家コース」「大賀菫(くわし)館コース」「花の家コース」の4コースがあります。福祉施設での実習のほか、講義では認知症の支援等を学びます。
まちだdeエコ・ツアー	ここからはじめるエコ・アクション	土・日曜日昼間	5/7~7/24 全11回	24名 1,000円	・農地・竹林・緑地・恩田川・湧水など、盛りだくさんの活動現場で、滴る心地よい汗を体感! ・春夏の太陽の下、軽やかな足取りで参加して下さい!
まちだ市民国際学	今、改めて核を学ぶ	木曜日18:30~20:30 (例外あり)	4/21~6/30 全10回	60名 3,000円	世界では今、イランにみられるように核をめぐる様々な駆け引きが行われています。また原子力発電にも脚光をあてられています。知っていると知らない「核」をめぐる様々な問題を通して、唯一の被爆国である日本の私たちに何ができるのかを考え学びます。
町田の郷土史 I	縄文から幕末まで	火曜日18:00~20:00 (例外あり)	4/19~7/12 全12回	60名 3,000円	町田市はどんなまちか、町田の歴史を学ぶための入門的な講座です。縄文から幕末まで必要な事柄を、時代を追って学習していきます。(初めて受講される方が優先となります)
陶芸入門講座	—	水曜日13:30~15:30	4/20~7/27 全9回	24名 15,000円	初心者を対象に、粘土を練ることからはじめ、ひも作りやタタラ作りなどの基本的な技法を学び、陶芸の工程を一貫して学ぶ入門講座です。(初めて受講される方が対象となります)
陶芸 電動ロクロ体験講座	地球にやさしいやきものリサイクル	土曜日13:30~16:00	5/14~7/16 全5回	15名 9,000円	・初心者を対象にした電動ロクロでの作品づくり! ・やきものがリサイクルできるって知っていますか?講座でその答えがわかります。 ・町田産の粘土を使って作品を作ります!!
人間科学	現代の「生老病死」と向き合う	月曜日18:30~20:30	4/18~7/4 全12回	60名 3,000円	「日本人の死のあり方とは?」「人はなぜ老い、病気になるのか?」「医療崩壊はどう向き合うべきか?」「再生医療など技術が進歩する中、人間社会はどうあるべきか?」「まちだを『終の棲家』にしたい」など生老病死をめぐる諸問題を学びます。

※前期「心と体の元気学」はお休みになります。

一方、後期(9~12月)には「まちだ市民環境塾」今地球に起きている事をしっかり



▲ポイ捨て防止パトロール

このような体験学習と併せて、市内のごみ処理施設や下水処理施設の見学を行い、さらに、エコに取り組み市民協働の現場として、町田駅周辺の「ポイ捨て防止パトロール」へも参加しました。



▲鶴見川のわんどで魚とり

2010年度の市民大学HATSでは「まちだdeエコ・ツアー」ここからはじめるエコ・アクション」と題した全11回の体験講座を前期(5~7月)に実施しました。環境保全に取り組んでいる市民団体やNPOを訪ね、一緒に保水の森の竹を切ったり、緑地の草を刈ったり、川に入り植生を調査したり掃除をしたりしました。

世の中は空前のエコ・ブーム

そんな今だからこそ 地に足のついたエコ・アクションを!

待ちしております。

以上のように市民大学HATSでは前期・後期を通して、町田という地域性に根ざした環境講座を実施しています。これらの講座は、受講生にとっては「エコ友達」をつくる場でもあり、今も多くの受講生が楽しく環境保全に取り組んでいます。なお、2011年度も市民大学HATSでは環境講座を実施しますので、市民の皆さまの参加をお待ちしております。



▲まちづくり推進課とグループワーク

こうした視点を軸に、自宅までできるエコライフ、ごみ・リサイクル問題、食の安全性、景観保全活動、環境教育などに関する講義も行い、市民が自分の暮らしの中で地球環境問題を受け止めていくきっかけを提供しました。

10月に名古屋で開催された「COP10生物多様性国際会議」に参加した環境省の取り組みを学ぶ講義、町田市民の生活の場である鶴見川流域の生態系保全を考える講義、絶滅危惧種の繁殖基地という新たな目的を推進する動物園のプロジェクトを学ぶ講義を実施しました。

と学びます」と題した全11回講座を実施しました。講座の軸に「生物多様性」を据え、複雑で多様な生態系をどう保全していくかというテーマの下、私たち町田市民にとって生物多様性とは何かを学びました。

「全国学力・学習状況調査」の結果表

【小学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正答数/問題数

Table with 4 columns: 国語 (A: 主として知識, B: 主として活用), 算数 (A: 主として知識, B: 主として活用). Rows: 町田市, 東京都, 全国.

【中学校】平均正答率 ※ () 内の数値：平均正答数/問題数

Table with 4 columns: 国語 (A: 主として知識, B: 主として活用), 数学 (A: 主として知識, B: 主として活用). Rows: 町田市, 東京都, 全国.

教育委員会では、広く市民の皆さまに本市の学校教育へのご理解・ご協力を得ることを目的とし、昨年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を2010年12月から町田市ホームページで公表しています。

「全国学力・学習状況調査」の結果を公表しています

～公表結果へのアクセス～

町田市ホームページ→子育て・教育→学校教育→全国学力・学習状況調査の結果の公表について

『小中一貫教育モデル校報告会』を開催しました

学校における様々な教育課題が増えてきているため、教育委員会ではこれらの課題解決に当たるために小・中学校の9年間を見通した「小中一貫教育推進事業」を行っています。



▲報告会の様子

今年度は「小中一貫教育モデル校」の指定を受けた小学校6校と中学校5校が、以下のような創意・工夫ある取り組みの成果を報告しました。

七国山小学校

今年度からモデル校の指定を受けました。学力向上に重点を置き、「学びの継続性」

南第四小学校

モデル校2年目。規範意識の醸成を軸にした「小中一貫町田っ子カリキュラム」では、「万引きは犯罪！」をテーマに小中一貫授業を実施しました。これはマスキミの取材を受けるほどの反響がありました。また、児童生徒会活動を充実させるため、「連合ユニセフ募金」を行いました。

南大谷小学校

モデル校3年目。確かな学力向上に向け、2年間継続してきた「話すこと・聞くこと」を中心とした合同研究成果を踏まえ、町田第五小学校を含めた「3校合同研修会」を開催しました。さらに、「サマーオープンスクール」での連携は、地域や保護者との協働の取り組みとして定着してきました。

木曾境川小学校

モデル校4年目。「地域で子どもを育てる」を理念に、教員、児童・生徒、カリキュラム及び地域との連携の4つの柱を立て実践を重ねました。今年度は4年間の集大成として、「よりよい連携教育のあり方」を考えました。9年間を見通した継続的な実践が必要であり、そのための協働組織の構築が急務であることなどが明確になりました。

【調査結果から】

町田市の平均正答率は、小・中学校共に、東京都・全国とほぼ同じような数値を示しています。また、小・中学校共に国語・算数(数学)で知識・技能を「活用する力」に課題があることが分かりました。改善策として、【小学校】国語では複数の情報を比べて読む指導や、目的に応じて本や文章を選んで読む指導を充実させること。算数では分数についての基本的な学習を充実させること。【中学校】国語では文脈の中で語句の意味を捉える指導や表現に着目して読む指導を充実させること。数学では事柄の特徴を的確にとらえ数学的に説明する指導を充実させること。などが大切だと考えます。

教育委員会の動き

9月～2月

平成22年9月から平成23年2月までの間に、定例会6回、臨時会2回が開催されました。33件の議案を審議し、2件を協議しました。また、4件の請願、39件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。

【議案】

○2011年度町田市教育委員会教育目標、基本方針及び施策方針について

【請願】

○「中央公民館の現状存続」を求める請願・・・不採択

【報告事項】

○町田市立図書館シンボルキャラクター決定について

○(仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校基本計画について

○町田市立図書館シンボルキャラクター決定について

○町田市立小・中学校空調設備運用基準検討委員会設置要綱の制定について

「町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式」を開催しました

2月21日に町田市民フォーラムにおいて、日頃より児童・生徒の育成のためにご協力いただいている保護者、地域の方々に感謝の意を表すため、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式を開催しました。学校の先生や保護者、地域の方々、約170人が参加しました。贈呈式では、感謝状贈呈の他に日本大学教授の佐藤晴雄先生の講演会や、町田市学校支援ボランティアの取り組みについて、本町田小学校、大戸小学校、南大谷中学校の実践報告が行われました。

2010年度学校支援ボランティア感謝状対象者【団体・個人】(敬称略)

Table with 6 columns: 学校名, 団体名, 支援内容, 学校名, 名前(個人), 支援内容. Lists recipients of thank-you letters for school support volunteers.

中学校にエアコン設置

2011年の夏休み期間中に、中学校(15校)普通教室(特別支援学級を含む)にエアコンを設置し、2学期から使用できるようにします。なお、小学校は2012年～2013年度に工事を予定しています。

問い合わせ施設課 724・2174

2010年度 町田市教育委員会

児童生徒表彰

様々な活動の場において一生懸命努力している児童・生徒を応援するため、有益な活動や他の模範となるような行いをした...



表彰受賞者(敬称略)

Table with 6 columns: School Name, Name, Activity Content, School Name, Name, Activity Content. Lists various students and their achievements in sports, arts, and academics.

第2回 中学生「東京駅伝」

チーム町田

『つなげ心の櫛!』



本日3月21日、調布市の味の素スタジアム・武蔵の森公園特設周回コースにおいて、第2回中学生東京駅伝大会が開催されます...

市町村対抗で行われるもので、市代表の「チーム町田」が男女ともに優勝し、総合優勝の栄光に輝きました。



一人一人が全力を尽くし、調布の森を駆け抜けます。昨年に続き、再び町田旋風を巻き起こすことが出来そうです...

選手代表の言葉、箱田耀一さん(つくし野中学校) 芝原梨梨さん(堺中学校) 私達は選考記録会や合同練習で他校の生徒と共に走ることを通して、町田の代表として全力を尽くしたい...

中学校全校に 図書の寄贈

ありがとうございました



今年も、社団法人町田法人会から、市立中学校全20校に図書531冊を寄贈していただきました...

設置に向けて準備を進めています

(仮)町田市 生涯学習センター



▲寄贈された図書の一部

教育委員会では、社会教育委員の会議からの答申を受け、(仮)町田市生涯学習センターの設置について検討を重ねてきました...

- 生涯学習センター(以下「生涯学習センター」という。)を設置します。
1 生涯学習センターの機能の確立
生涯学習センターの機能を確立するため、中央公民館(以下「公民館」という。)及び市民大学HATS(以下「市民大学」という。)が担っている機能を継承しつつ、次の4つの機能を整備します。
①全体計画立案機能
②関係機関との総合調整機能
③情報集約・発信機能
④学習相談機能
2 生涯学習センターの組織の整備
(1)公民館及び市民大学並びに生涯学習課の事務の一部を生涯学習センターへ統合し効率的に生涯学習センター機能を担える組織にします。
(2)相模原・町田大学地域コンソーシアムに係る事業を組織に加え、学習活動が広域的に展開できるよう整備します。
3 附属機関の設置
(1)社会教育委員の会議、公民館運営審議会、まちだ市民大学HATS運営協議会を統合し新たに「生涯学習審議会」を設置します。
(2)生涯学習センターにおける各種の事業の企画実施について協議を行う懇談会等として、新たに「生涯学習センター運営協議会」を設置します。
4 生涯学習センターの設置場所
現在の公民館に生涯学習センターを設置します。
5 生涯学習センターの設置時期
2012年4月を目途とします。

お知らせ
予定している行事・講座等の開催について変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。ご不明の点は、各課又は教育総務課(☎724・2172)までお問い合わせください。